



上宮地川橋他1橋 (PC上部工) 工事
(岡山県真庭市)

第70期

FPS REPORT

2021.4.1 - 2021.9.30

証券コード：1848



株式会社富士ピー・エス

戦略的な投資による経営リソースの充実で「稼ぐ力」の強化を



代表取締役社長

堤 忠彦

株主ならびに投資家の皆様には、平素より当社グループの事業運営に対して、深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

複数年に渡った大型工事が完成し、多くが新規の工事となる端境期としてスタートした第70期は、次なるステップへの新たな成長に向けた変革の年と位置付けました。当社を取り巻く市場環境としては、新型コロナウイルス感染症の影響による民間建築需要の停滞感はあるものの、公共工事が中心となる土木分野では、高速道路を中心とする老朽化インフラの更新事業や、年々その脅威を増す自然災害への備えとしての防災対策事業など、国土強靱化のための事業が市場を牽引するかたちで堅調に推移しました。今後は、コロナ収束に伴う経済活動の回復によって、停滞した建築市場が再び動き出すことの反動増も加わり、更なる市場の成長が期待されます。

このような状況のなか、今年度を初年度とする第5次中期経営計画「VISION2030」の確実な実現を目指し、様々な補強策と合わせ計画的にその実行に邁進してきました。「VISION2030」では、潤沢な建設市場を確実に事業として取り込むために、その根拠となる経営リソース（人材、技術・生産設備、財務）を充実することに主眼を置いています。主な施策として、「技術開発力の強化」、「事業体制の拡大」、

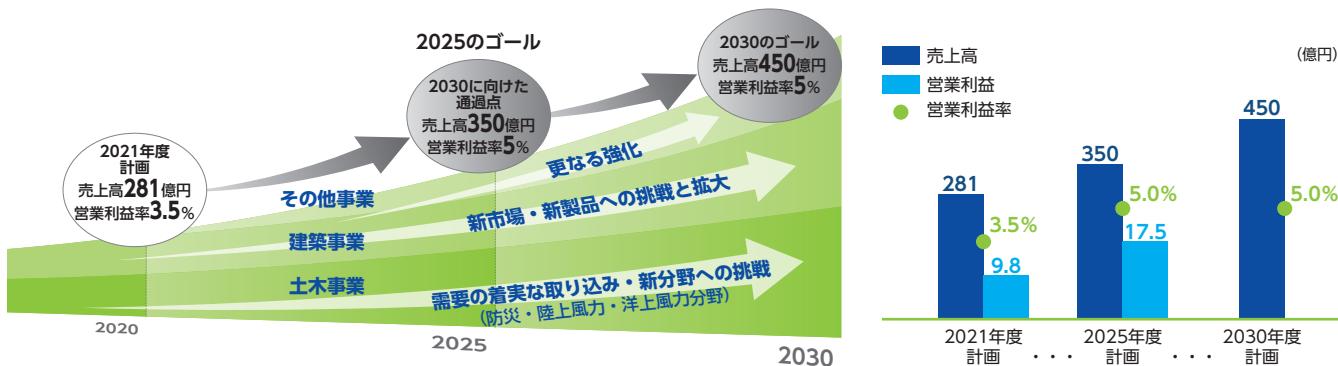
「工場生産体制の改善」などを掲げています。具体的には、7月に技術センターいわき研究所を本格稼働し、8名の研究員体制を構築しました。併せて、福島工業高等専門学校などとの恒常的な連携を図る「福島広域連携ラボ構想」の整備に着手しました。また10月には、静岡県に本社を置き、コンクリート構造物の補修・補強工事を主たる事業とする「駿河技建株式会社」の全株式を取得し完全子会社としてメンテナンス事業分野の強化を図りました。さらに、既存工場の生産能力アップに向けた施策として、まずは九州小竹工場のリニューアルに着手しました。未来型工場への転換を図るため、エコロジー、エイジ・ジェンダーフレンドリー、バリアフリーなどをキーワードとしたリニューアル設計を実施中で、来期から4年をかけた工事に着工します。加えて、全社を対象とするDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、抜本的な業務執行体制の変革による生産性の向上を実現し、収益性の改善につなげていきます。

5年で「稼ぐ力」を蓄え、その後の5年間で急成長を成し遂げるシナリオを描く「VISION2030」では、様々な分野でのハード、ソフト両面での環境整備が重要であり、そのためには戦略的に効果的な投資を行うことが求められます。次なるステージへの成長を見据えた強靱な経営基盤を備えた企業への変革を図るために、あらゆる視点からの改革を進めてまいりますので、今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第5次中期経営計画「VISION2030」 —新たな成長戦略に向けた経営リソースの拡充

市場環境や生産環境の変化に対応するため、「新たな成長戦略に向けた経営リソース（人材、技術・生産設備、財務）の拡充」をテーマとした、2021年度から2030年度までの10年間を対象とする第5次中期経営計画「VISION2030」を策定いたしました。

VISION2030のゴールと数値計画



重点方策

2025のゴールを実現するための経営資源の充実を図る

- ✓高収益体制の実現
- ✓経常的に経営資源を充実させていく体制・文化の構築



安定的な生産施工体制を確保するための人材の獲得と育成

- ・従業員の待遇改善
- ・協会会社の経営の安定化



競争力のある生産性を確保するための集中的な設備投資

- ・工場リニューアルと拡張
- ・技術開発のための設備拡充



健全な財務体質の維持と設備投資のための資金力の確保

- ・安定的な利益の獲得
- ・キャッシュフローの維持

経営資源充実の原資を確保するための成長目標

売上高350億円・営業利益率5%

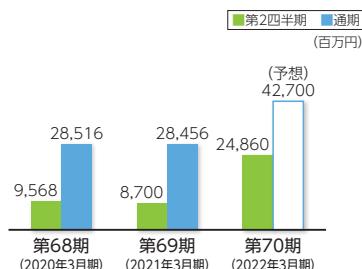
財務ハイライト

当中間期の概況

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、受注高は24,860百万円、売上高は13,310百万円となりました。損益につきましては、営業利益は764百万円、経常利益は778百万円、四半期純利益は594百万円となりました。

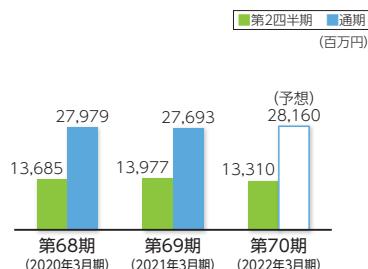
受注高

24,860 百万円



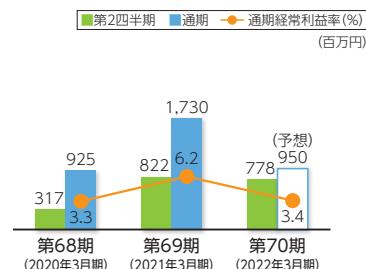
売上高

13,310 百万円



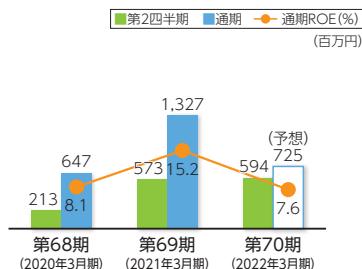
経常利益・経常利益率

778 百万円



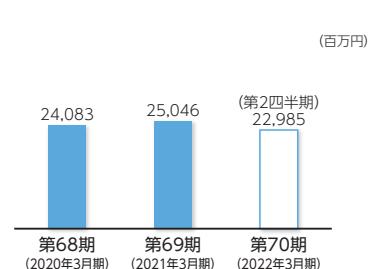
四半期(当期)純利益・自己資本利益率(ROE)

594 百万円



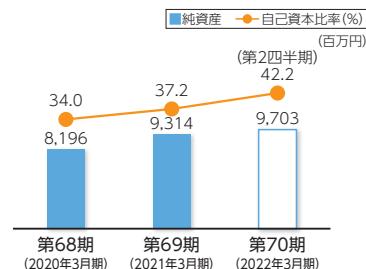
総資産

22,985 百万円



純資産・自己資本比率

9,703 百万円



※第69期通期より個別決算に移行しており、それ以前は連結ベースの数値であります。

決算情報

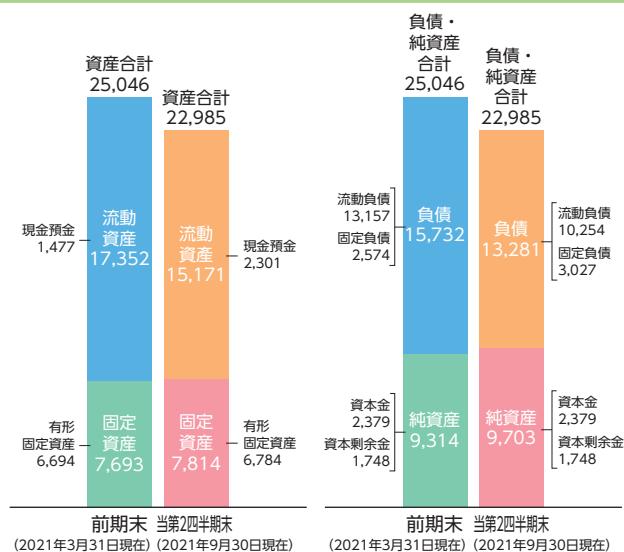
損益計算書の概要

(単位：百万円)

科目	当第2四半期（累計） (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	13,310
売上原価	11,131
売上総利益	2,179
販売費及び一般管理費	1,414
営業利益	764
経常利益	778
四半期純利益	594

貸借対照表の概要

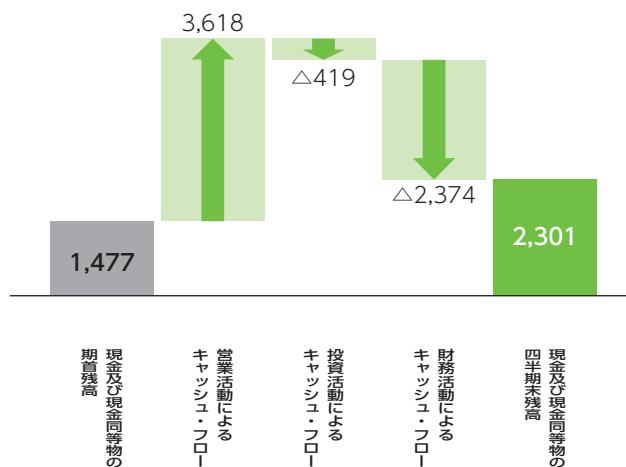
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)



※第69期通期より個別決算に移行しており、それ以前は連結ベースの数値であります。

セグメント情報

土木事業

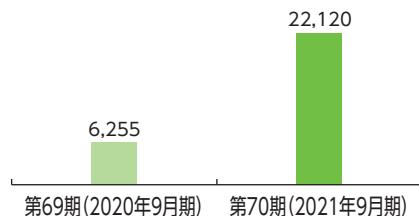
受注高 22,120百万円

売上高 10,289百万円

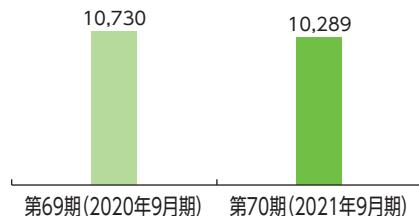
セグメント利益
(売上総利益) 1,662百万円



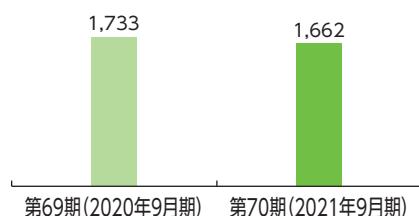
受注高 (単位：百万円)



売上高 (単位：百万円)



セグメント利益 (単位：百万円)



土木事業の紹介

令和2年度河津下田道路Bランプ橋PC上部工事（静岡県賀茂郡河津町）

伊豆縦貫自動車道は、静岡県沼津市から下田市に至る延長約60kmの自動車専用道路で、伊豆地方のアクセスの向上と安心して生活できる環境の実現などが期待されます。

当社は伊豆縦貫自動車道の一部を構成する河津下田道路のうち、河津IC付近に位置するBランプ橋の一部（PC3径間連続ラーメン箱桁橋）を施工しております。また、当工事はBIM/CIMモデルを活用している工事であり、3次元モデルにより構造物や構造物を構成する部材等の形状・寸法などの情報を可視化することで、部材同士の干渉チェックを始めとした現場管理の効率化や安全の向上などが期待されます。



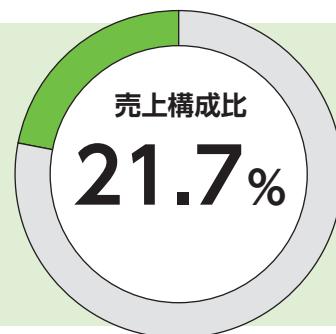
※第69期通期より個別決算に移行しており、それ以前は連結ベースの数値であります。

建築事業

受注高 2,496百万円

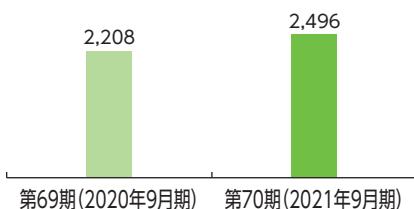
売上高 2,893百万円

セグメント利益
(売上総利益) 442百万円



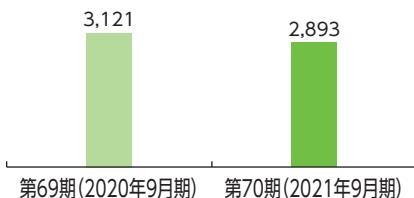
受注高

(単位：百万円)



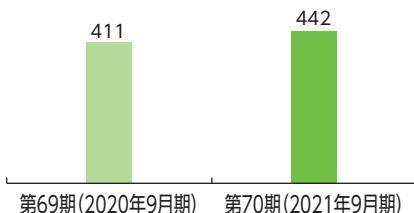
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



建築事業の紹介

品質と経済性に優れた建築製品を生み出す

主要都市部における都市再生開発事業の超高層マンションに採用されている当社開発のプレストレスト・コンクリート床板（FR板）は堅調に顧客を確保し、実績を増やしています。また、鋼板ダンパを用いた耐震補強工法のスマイルダンパフレームは、主に集合住宅を対象に営業活動を行い、受注拡大を目指しています。

※スマイルダンパフレームは、地震発生時に、鋼板ダンパが地震エネルギーを吸収するように設計された外付けの制震補強工法です。



※第69期通期より個別決算に移行しており、それ以前は連結ベースの数値であります。

トピックス

駿河技建株式会社を完全子会社化

第5次中期経営計画「VISION2030」の実現を加速させるための補強策として、2021年10月4日付で駿河技建株式会社（静岡県静岡市清水区）の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。本件株式取得は、高速道路の大規模更新事業など維持補修・更新分野での優秀な人材の確保や技術力の強化を進めることによって、更なる事業拡大を図ることを目的としております。

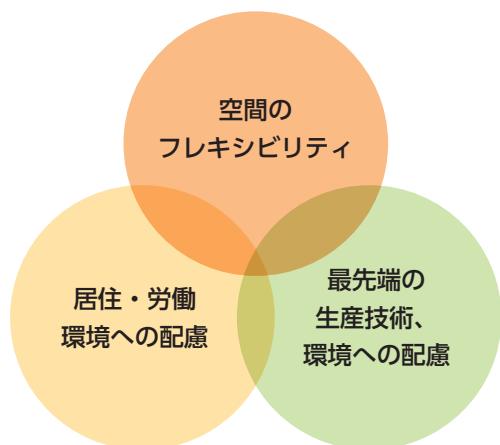
当社の一層の競争力の強化や、収益力及び成長力の向上に資するよう体制の構築を進めてまいります。



(左：駿河技建株式会社 伏見社長
右：当社 堤社長)

九州小竹工場リニューアル計画を策定

第5次中期経営計画「VISION2030」の基本方針の一つである「工場を中心とした集中投資」の第一弾として、九州小竹工場のリニューアルを始動いたしました。老朽化した建物の設備を改善し、製品需要の拡大に対応した生産性を高める未来型工場への転換を図り、2025年度の完成を目指します。



リニューアルの3要素



完成イメージ図

技術センターいわき研究所本格稼働

当社いわき工場（福島県いわき市）内に、建設していた技術センター研究棟が、2021年7月に完成いたしました。研究棟は、PCaPC造を採用し建設しており、材料試験や恒温恒湿下での実験及び化学実験を行う設備を整え、様々なコンクリート構造物に関連した実験を行うことができます。2019年に完成した構造実験棟と今回の研究棟で施設の整備が完了しました。今後は研究員の増員・育成を図りながら、研究施設として機能を発展させてまいります。



いわき研究所



地元高専生への体験学習の様子

1車線規制に対応した床版取替用架設機「F-ROG」を開発

狭小幅員に対応した橋梁の床版取替用架設機「F-ROG」を開発しました。本機材は、1車線規制内での床版取替を可能にしたもので、高速道路の床版取替工において、対面通行規制することなく、上下線のいずれかを1車線通行規制するのみで施工することができるため、都市部に近い重交通路線のほか、インターチェンジ、サービスエリアの近くでの適用に有効です。今後の床版取替工において、本機材を使用した機械化施工により、高速道路利用者の負担を軽減して社会的要請に応えるとともに、省人・省力化を実現しながら、更なる生産性の向上を図っていきます。



架設時のイメージ

株式概要 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	53,000,000株
発行済株式の総数	18,602,244株
株主数	12,004名

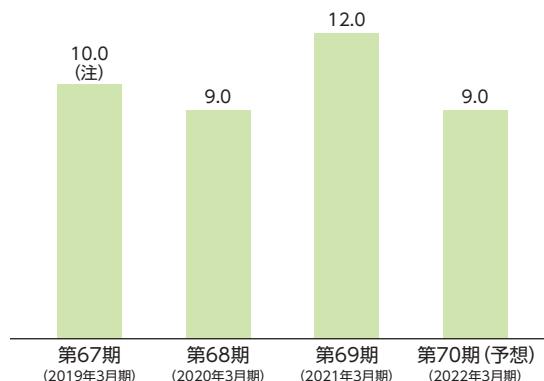
大株主

株主名	持株数	持株比率
太平洋セメント株式会社	3,221千株	18.04%
住友電気工業株式会社	2,383千株	13.35%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・九州電力株式会社及び九州電力送配電株式会社口)	2,309千株	12.94%
西日本鉄道株式会社	773千株	4.33%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託神鋼鋼線工業口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	722千株	4.04%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	581千株	3.25%
日鉄S G W イ ヤ 株式会社	423千株	2.36%
株式会社渡辺藤吉本店	267千株	1.49%
株式会社福岡銀行	261千株	1.46%
株式会社西日本シティ銀行	217千株	1.21%

(注) 1. 当社は、自己株式を753千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。自己株式には、役員向け株式交付信託による保有株式100千株は含まれておりません。

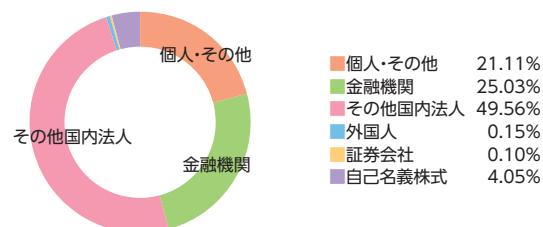
配当金の推移

(単位：円)



(注) 東証一部指定記念配当1円を含んでおります。

所有者別株式分布の状況



当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

<https://www.fujips.co.jp/>

富士ピー・エス

検索

会社概要 (2021年9月30日現在)

会社の概況

商号	株式会社 富士ピー・エス (英訳名 FUJI P.S CORPORATION)
設立	1954年3月19日
資本金	23億7,927万円
従業員数	439名
事業内容	特定建設業（土木工事、建築工事） プレストレスト・コンクリート技術を用いた土木・ 建築事業の請負、企画、設計、施工監理並びに PC製品の設計、製造、販売
	1. 土木事業 橋梁（道路・鉄道橋）工事、PCタンク工事、耐震補強 工事、メンテナンス工事など
	2. 建築事業 FC・FR板、DM版の製作・敷設指導、耐震補強工事、 PCaPC建築工事、PCリング及びPC緊張工事
	3. その他事業 PC軌道マクラギ、PC矢板、PC梁・柱などの製造、販売

主要事業所

本店	福岡市中央区薬院一丁目13番8号 九電不動産ビル 〒810-0022 TEL092(721)3471(代)
支店	東北支店、関東支店、名古屋支店、 関西支店、広島支店、九州支店
工場	東北工場、いわき工場、関東工場、 滋賀工場、三重工場、九州小竹工場
営業所	全国18カ所

役員

代表取締役会長	菅野 昇 孝	取締役	千田 善 晴	上席執行役員	油 田 康 生
代表取締役社長	堤 忠 彦	取締役	戸 田 康 一 郎	上席執行役員	西 山 吉 秀
取締役執行役員副社長	田 中 恭 哉	取締役	中 村 藤 雄	上席執行役員	泉 隆 士
取締役専務執行役員	梅 林 洋 彦	取締役	新 関 輝 夫	上席執行役員	古 賀 順 一
取締役常務執行役員	内 野 英 宏	常勤監査役	青 柳 孝 雄	上席執行役員	田 中 政 章
		常勤監査役	関 照 夫	執行役員	上 田 修
		監査役	田 嶋 典 明	執行役員	小 宮 久 文
				執行役員	辻 裕 治
				執行役員	八 木 洋 介
				執行役員	左 東 有 次

(注) 1. 取締役 千田善晴、戸田康一郎、中村藤雄、新関輝夫の4氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 関照夫、田嶋典明の両氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、取締役 新関輝夫氏を東京証券取引所、福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 証券会員制法人福岡証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載(電子公告)し、止むを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞にて公告する。 (https://www.fujips.co.jp/ir/notice/)
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

(ご注意とお願い)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- ①単元未満株式(100株未満)及び②特別口座(三井住友信託銀行)

で管理されている株式は市場で売却することができません。株主様の利便性を図るため次の事項をお勧めいたします。

- ①単元未満株式につきましては、買取・買増制度をご利用ください。
- ②特別口座(三井住友信託銀行)で管理されている株式につきましては、証券会社等で管理される口座管理機関への変更をお勧めいたします。
- ④単元未満株式の買取・買増につきましては、当社は手数料を無料としておりますので、株主様におかれましては、ご利用をお願い申し上げます。
- ⑤ご不明な点がありましたら、上記株主名簿管理人または当社総務部(092-721-3471)にお問い合わせください。

表紙・写真

(岡山県真庭市)

上宮地川橋他1橋(PC上部工)工事



中国横断自動車道岡山米子線の暫定2車線区間において、当社は宮地川橋(PRC3径間ラーメン箱桁橋)と上宮地川橋(PRC5径間連続2主版桁橋)の2橋を施工しました。交通事故等に対する安全性の向上及び災害時のリダンダンシーの確保を目的として、全線4車線化事業が進められています。

人にあたたかい空間づくりをめざして



株式会社富士ピー・エス

URL <https://www.fujips.co.jp/>

UD FONT

